
第28回地域医療構想に関する ワーキンググループ	参考 資料
令和2年11月5日	

新型コロナウイルス感染症対応について

一般社団法人 日本病院会 副会長
済生会福岡総合病院 名誉院長
岡留 健一郎

2020.11.5
地域医療構想に関するワーキンググループ

■ 本日本話しする内容

新型コロナウイルス感染症対応について

1. 病院の概要
2. 福岡県、福岡市のCOVID-19発生状況について
3. 当院の対応、受け入れ状況について
4. これまでの振り返りと今後の対策について

■ 病院の概要 ①

(2020年10月1日時点)



- ・ 開設日 : 大正8年3月15日
- ・ 開設者 : 社会福祉法人恩賜財団済生会
- ・ 所在地 : 福岡県福岡市中央区天神
- ・ 建 物 : 地上14階 (屋上ヘリポート)
- ・ 職員数 : 965名
- ・ 病院実績 (2019年度)
 - 平均在院日数 10.4日
 - 病床利用率 84.7%
 - 入院診療単価 89,028円
 - 紹介率 88.2%
- ・ 標榜科 : 26診療科
内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、
脳・血管内科、心療内科、精神科、小児科、外科、
呼吸器外科、血管外科、消化器外科、心臓血管外科、
脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、産婦人科、
眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、放射線科、
麻酔科、病理診断科、救急科

■ 病院の概要 ②

(2020年10月1日時点)



- ・ 病床数 : **380**床
 - 一般病棟入院基本料7対1 : **305**床
 - 救命救急センター : **50**床
 - (救命救急入院料 : 46床)
 - (特定集中治療室管理料 : 4床)
 - ハイケアユニット入院医療管理料 : **16**床
 - 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 : **9**床



- ・ 主な指定 :
 - 福岡地区第三次救急医療機関
 - 地域医療支援病院
 - 地域がん診療連携拠点病院
 - 厚生労働省指定臨床研修病院
 - 福岡県災害拠点病院
 - DPC特定病院群
 - 日本国際病院 (J I H)

■ 福岡市について

福岡市ホームページより（2020年9月1日時点）

総人口 1,603,043人（男：756,352人 女：842,691人）世帯数 832,635世帯

【福岡県の2次医療圏】



【福岡・糸島医療圏における2025年の必要病床数と病床機能報告の比較】

2025年の必要病床数



合計：20,976床

病床機能報告（2018年）



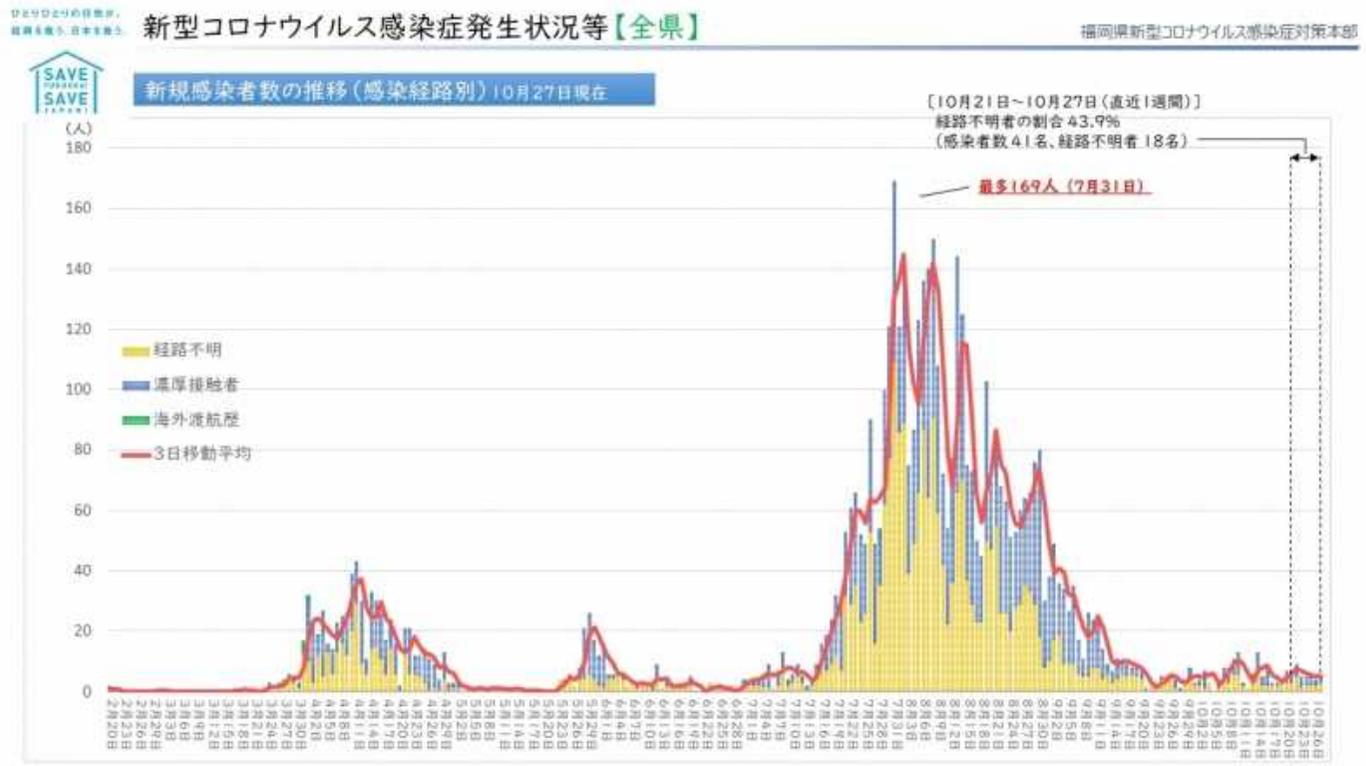
合計：19,491床

■ 本日本話しする内容

新型コロナウイルス感染症対応について

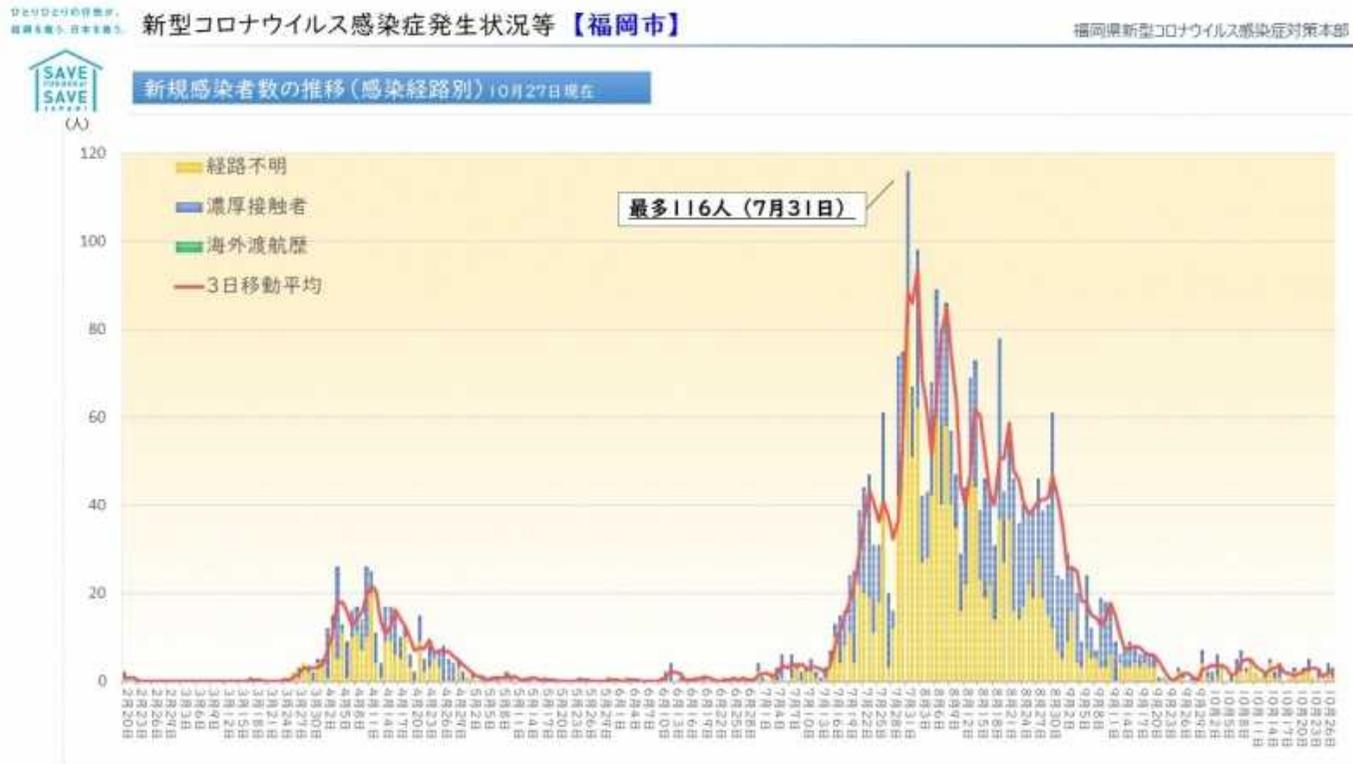
1. 病院の概要
2. **福岡県、福岡市のCOVID-19発生状況について**
3. 当院の対応、受入状況について
4. これまでの振り返りと今後の対策について

■ 新型コロナウイルス感染症発生状況【福岡県】



福岡県HPより

■ 新型コロナウイルス感染症発生状況【福岡市】



福岡県HPより

■ 新型コロナウイルス感染症発生状況【福岡県】



福 岡 コ ロ ナ 警 報

10月28日現在

内 容	基 準	10月26日	10月27日	10月28日
感 染 者 数	1日当たりの感染者が 3日連続40人 [※] 以上で かつ増加傾向	5.0人	5.0人	5.7人
感染経路不明者 の 割 合	1週間当たりの割合が 50%以上	41.9% (18人/43人)	43.9% (18人/41人)	52.4% (22人/42人)
病 床 稼 働 率	25%以上	7.6% (42床)	7.8% (43床)	7.6% (42床)
重症病床稼働率	25%以上	4.4% (4床)	4.4% (4床)	4.4% (4床)

※ 3日移動平均

福岡県HPより

■ 本日本話しする内容

新型コロナウイルス感染症対応について

1. 病院の概要
2. 福岡県、福岡市のCOVID-19発生状況について
3. 当院の対応、受入状況について
4. これまでの振り返りと今後の対策について

■ 感染症患者受入病床の確保について

通常時			コロナ対応時		
13階病棟	急性期1	42床	13階病棟	急性期1	42床
12階病棟	急性期1	50床	12階病棟	急性期1	50床
11階病棟	急性期1	57床	11階病棟	急性期1	57床
10階病棟	急性期1	42床	10階病棟	急性期1	42床
	SCU	9床		SCU	9床
9階病棟	急性期1	55床	9階病棟	急性期1	55床
8階病棟	急性期1	59床	8階病棟	急性期1	59床
7階救命救急センター		33床	※7階救命救急センター		33床
6階救命救急センター		17床	6階救命救急センター		17床
	HCU	16床		HCU	16床

※救命救急センターの一部をコロナ専用病床へ変更し受け入れを行った。

■ 当院での受入状況

- 病床確保数（救命救急センター内）

期間	2/17~3/31	4/1~4/21	4/22~5/24	5/25~6/1	6/2~6/30
病床数	1床	4床	16床	6床	4床
期間	7/1~7/22	7/23~8/6	8/7~9/14	9/15~現在	
病床数	1床	4床	16床	6床	

- 入院患者受け入れ数(実人数・疑い含) **() 内の数字は陽性者** 単位：名

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
0(0)	0(0)	3(1)	25(9)	11(0)	16(0)	22(2)	50(34)	22(8)	12(0)	161(54)

- 帰国者・接触者外来PCR検査受け入れ数 単位：名

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
0	7	25	246	95	63	347	694	156	29	1,662

■ 院内の感染防止対策



■ 検温用サーマルカメラの導入



■ 帰国者・接触者外来



■ 入院病棟のゾーニング



今後の受入体制を踏まえて改修工事を施工



■ 入院患者への対応



■ 新型コロナウイルス感染症対策関連の費用について①

(2020年1月～9月)

主な項目 No.1

・ 医療・事務消耗品等 ※初療室及び7階病棟で使用したマスク、ガウン、 フェイスシールド、洗浄剤等	3,339,481円
・ 専用プレハブ設置・設備整備 ※専用診察室として2室設置、診察用備品整備	794,365円
・ 検温用サーマルカメラ設置 ※来院される方の検温を実施	995,500円

■ 新型コロナウイルス感染症対策関連の費用について②

(2020年1月～9月)

主な項目 No.2

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| ・ 医療機器整備
※人工呼吸器、メラ遠心血液ポンプシステム | 21,235,500円 |
| ・ 7階病棟のセグメンテーション
※状況に応じ計3回のレイアウト変更 | 1,373,550円 |
| ・ 窓口等の飛沫防止シールドは病院保有の資材で職員が作成 | |

費用合計 27,738,396円

■ 本日本話しする内容

新型コロナウイルス感染症対応について

1. 病院の概要
2. 福岡県、福岡市のCOVID-19発生状況について
3. 当院の対応、受入状況について
4. これまでの振り返りと今後の対策について

■これまでの振り返りと今後の対策について（まとめ）

- 当院ではI C T（感染制御チーム）が中心となり、速やかに受け入れ体制の整備やマニュアルを作成し対応した。
- 病院の構造上、4対1の看護体制である救命救急センターの一部を受け入れ病床とすることが出来たため、看護職員の配置を変更する必要はなかった。また、救命救急センターには陰圧個室があり、従来より感染患者の対応を行っていたことも強みとなった。その結果として救急医療と新型コロナウイルス感染症対応を両立することが出来た。
- 2次医療圏内では県や市、感染症指定医療機関が中心となり、主に急性期機能を担う医療機関が協力して地域での受け入れ体制を構築した。
- 今後、新型コロナウイルス感染症については重点、協力医療機関など、各医療機関が担う役割に沿って対応していくことになるが、本来の地域での役割（急性期機能など）や一般医療との両立が求められる。

ご清聴ありがとうございました。